

計画事業番号	00006	事務事業名	妊産婦保健推進事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1212
--------	-------	-------	-----------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	母子保健法第9条～17条				
事務事業開始年度	昭和44年度	個別計画等	北広島市健康づくり計画 健康きたひろ21 北広島市子ども・子育て支援プラン				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 1 節)	健康づくり・地域医療の充実
	(施策 2)	保健予防の推進
2 対象	妊婦	
3 目的と内容	妊婦中の健康や出産・育児の正しい知識の啓発のため、マタニティスクール、スクール終了後のクラス会や両親コースを開催する。妊婦健診の費用負担を軽減する妊婦健康診査受診票を発行する。保健師と地域のパイプ役として母子保健推進員が家庭訪問などを行う。 【前回推進計画からの変更点】 H29年度～母子保健推進員の人数を28人とする事による報酬の減額、健康づくり啓発事業の元気フェスティバルの内容変更により、本事業に移行(需用費・役務費の微増)、妊婦健康診査の1人当たり委託料の単価アップによる増額	
4 実施内容(手段)	2 8 年度 まで	(1)母子健康手帳の交付、父子健康手帳の配布 (2)妊婦健康診査助成(妊婦一般健康診査14回、超音波検査6回) (3)母子保健推進員活動 (4)マタニティスクール (5)マタニティスクールクラス会 (6)マタニティスクール両親コース
	2 9 年度	(1)母子健康手帳の交付、父子健康手帳の配布 (2)妊婦健康診査助成(妊婦一般健康診査14回、超音波検査6回) (3)母子保健推進員活動 (4)マタニティスクール (5)マタニティスクールクラス会 (6)マタニティスクール両親コース

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
(1)母子手帳交付・父子手帳配付 (2)妊婦健康診査受診票の配付 (3)母子保健推進員活動 (4)マタニティスクールの開催 (5)クラス会の開催 (6)両親コースの開催	(1)母子手帳交付数296冊・父子手帳配付数334冊 (2)受診票配付数333件 (3)会議2回/育児交流会5回・参加数304人/訪問数延312件 (4)5コース参加数37人/延125人 (5)定例5回 参加25組/自主開催 5回 (6)4コース 参加39組	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催	母子手帳交付・父子手帳配付 妊婦健康診査受診票の配付 母子保健推進員活動 マタニティスクールの開催 クラス会の開催 両親コースの開催

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	妊産婦の健康保持に極めて必要な事業である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			25,245		27,151		29,411		29,411	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	25,245		27,151		29,411		29,411	
	① 合計	25,245		27,151		29,411		29,411		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	8,400	0	8,400	0	8,400	0	8,400	0	
総事業費①+④			33,645		35,551		37,811		37,811	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 妊婦健康診査受診票による延受診者数	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000
		実績値	5,867			
	② 母子保健推進員活動報告件数	目標値	600	600	600	600
		実績値	831			
③ マタニティスクールクラス会開催数	目標値	15	15	15	15	
	実績値	10				
④	目標値					
	実績値					
成果指標	① 妊婦健診受診率 【妊婦健診受診者数(319)/妊娠届出者数(333)】	目標値	100	100	100	100
		実績値	95.7			
	② マタニティスクールアンケート 【交流できたと回答した割合】	目標値	100	100	100	100
		実績値	72.2			
③ マタニティスクールクラス会参加率 【クラス会参加数(25)/マタニティスクール参加数(37)】	目標値	85	80	80	80	
	実績値	67.6				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	妊婦と胎児の健康を守り、安心して出産できる環境をつくることにより、少子化対策に寄与している。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	妊婦健康診査受診率は高く、各事業での妊婦の仲間づくりも進んでいることから成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	妊婦健康診査の受診率等をさらに向上させるため、周知徹底を行う。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	必要最小限の予算で事業を実施しており、対象者数に応じて人員の投入を調整しながら実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--